



## 新課程教科書紹介特集 Part.1

# ビジネス基礎

名古屋市立西陵高等学校教諭 三輪 俊輔

### 1) 科目概説

「ビジネス基礎」は新課程でも商業科の基礎的科目として、商業に関する学科における原則履修科目と位置付けられています。学習目標の中には、「自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う」との記述があり、単に知識と技術を身につけさせるだけではなく、指導方法についての工夫がこれまで以上に必要となる科目であるといえます。

さて、いよいよ高校現場においても、「主体的、対話的で深い学び」の実現が求められています。ビジネス基礎は商業に関する学科の基礎となる科目であることから、商業を学ぶ全ての生徒にとって身近な話題を導入とし、そこからより深くビジネスについて考察することを目指していければと考えています。

### 2) 教科書の特長・工夫したこと

従前より、実教出版の教科書では『事例・コラム』が豊富に取り上げられてきました。本書でもこの方針を踏襲し、できる限り新しく、また生徒にとって身近な話題として考えられる事例・コラムを数多く準備しました。とくに事例については、大学の先生方の最新の研究をもとにしているものが多く、生徒はもとより先生方にも、幅広い知見を得るためのきっかけとしていただければと思います。あわせて、事例・コラムには、新たな試みとして『+Study』を設定しました。これは、各事例・コラムを用いて、より発展的な探究活動を促すための道しるべすることを目的としています。取り組み方としても、①調べるときのポイント、②話し合いのポイント、③まとめ資料作成のポイント、④発表のポイントについて、本書冒頭にて紹介しておりますので、ご活用いただければと思います。もちろん、限られた授業時間内ですべての『+Study』に取り組むことは現実的ではないかもしれません。生徒や先生方の興味

や関心に応じて、取捨選択しながらご活用いただければ、深い学びの実現の一助になるものと確信しております。

さらに、いくつかのテーマについては、『QRコードからの動画コンテンツへのリンク』も準備されています。紙上では表現することが難しかった内容について、動画によって視覚的に観察することで、より一層の理解へとつながるのではないのでしょうか。スマートフォンやタブレットで利用できるのも、大掛かりな視聴覚機材を準備しなくても、手軽に視聴できる利点がありますし、家庭での自学自習にも対応できると考えます。

また、教科書において従前から取り上げられている内容についても、不易と流行を意識し、改良を目指しました。コミュニケーションに関する内容は7章から2章に移動し、より早い時期にビジネスマナーについて学習できるようにしました。代金決済の方法においては、新たなキャッシュレス決済についても取り上げています。新設となる8章では身近な地域のビジネスと題し、地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向を学習するとともに、総まとめとして「地域マップの作成」についての実習を用意しました。

### 3) メッセージ

ビジネス基礎は、同じく商業科の基本的な科目とされることが多い簿記や情報処理に比べると、技術を習得するといった側面が弱く、生徒にとっても学習成果の向上を感じにくい科目かもしれません。しかし、この科目にはこれからのビジネス現場で活躍する社会人として必要な知識、内容が十分に盛り込まれていると断言できます。ぜひとも先生方におかれましては、ビジネス基礎を通して、「学びの楽しさ」と「ビジネスに関する深い教養」を生徒たちへ教授していただければ、執筆者の一人として幸甚です。